

事業所名

れんげ

公表日

2026年 2月27日

	チェック項目	どちらともいえない		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6			
	② 職員の配置数は適切であるか。	5	1		適宜採用活動を行う
	③ 事業所の生活空間は分かりやすく構造化されているか。	6		個別支援ではパーテーションで空間を区切っている。	
業務改善	④ 業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に職員が参画しているか。	6		ケース会議や個別会議を毎月行い、話合う場を設定している。	
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか。	6			回収率を向上する必要がある。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所のおたよりやホームページ等で公開しているか。	6			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	⑧ 職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか。	5	1	事業所会議やケース会議を毎月行い、支援や自己啓発の学習にも取り組んでいる。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、お子さんと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	⑩ お子さんの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ケース会議や個別会議を毎月行い、話合う場を設定している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		同じ活動が同月に無いように工夫している。	
	⑬ お子さんの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		個別支援でも同時時間帯での小集団活動、集団支援でも発達による小集団化を適宜行っている。	サービスの利用状況によっては利用形態が偏っている。
	⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6		朝礼で確認を行っている。	
⑮ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		詳しくは朝礼で確認を行っている。また申し送り表を設置している。		

	⑯	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			支援記録の確認表を設けて漏れ、遅れの無いように取り組んでいる。	
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			モニタリング以外にも必要に応じて相談の機会を設定している。	
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのお子さんの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6				
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、お子さんの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブルの発生時の連絡)を適切に行っているか。	6			ご家庭への事前の声掛けやホームページ等からも情報を入手している。またLINE等を用いて送迎時間等もお知らせしている。	
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	6		相談支援事業所や保護者様から情報共有を頂く事が多い。	当事業所より相談支援事業所等を通して発信する必要がある。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ以降する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか。	6	6		相談支援事業所や保護者様へ情報共有をする事がある。	障害福祉サービスへ移行する児童が増えてくる為、事業所側より相談支援事業所等に働きかけをする必要がある。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3	3		必要に応じて研修に参加している。相談支援事業所とは連携をとっている。	
	㉔	児童館との交流や公園、スポーツ施設等障害のないお子さんと活動する機会があるか。	6			体育館や地域の公園などで活動をしている。	
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		必要に応じて研修には参加している。	参加を検討。 必要に応じて研修には適宜参加する。
	㉖	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	5	1		主にモニタリング時に助言をしているが必要に応じて支援している。	
	保護者への説明責任	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
㉙		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6			必要に応じて対応している。 また事業所側からも声掛けを行っている。	
	⑳	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				

	① 定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、情報をお子さんや保護者に対して発信しているか。	6			各利用者へ行事予定表を個別に作成している。	
	② 個人情報に十分注意しているか。	6			鍵付きの書庫で管理している。	
	③ 障害のあるお子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか。	6			必要に応じてノートや筆談を用いている。	
	④ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		民生委員さんにイベントに参加して頂いている。	参加して頂ける機会が増えるように連携を行っていく。
非常時等の対応	⑤ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	6			事務所内の目の届く場所へ設置している。また更新された際には周知している。	全ての保護者様に認知して頂ける様、引き続き伝え方を工夫する必要がある。
	⑥ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			集団支援、個別支援ともに行っている。	全ての保護者様に認知して頂ける様、引き続き伝え方を工夫する必要がある。
	⑦ 虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			決められた月に行っている。	
	⑧ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			契約する際に説明を行っている。	
	⑨ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか。	6			分かりやすい様に個人ファイルに視覚的に示している。	
⑩ ヒヤリハットを作成して事業所内で共有しているか。	6				朝礼及び毎月の事業所内会議で確認、共有をしている。	